

第37回土木計画学研究発表会 SS

■日時、場所

平成20年6月6日(金)17:30~19:00 北海道大学工学部

■セッション名

新たな公共事業の計画策定プロセスと今後の方向について

New planning process for Infrastructure project and Future direction

■オーガナイザー氏名

国土技術政策総合研究所 道路環境研究室 主任研究官 曾根真理

■SS概要

平成20年3月に国土交通省において「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」がとりまとめられた。公共事業を円滑に進めるためには早い段階からの住民等の理解と協力が不可欠であり、そのためには計画策定プロセスの透明性、公正性が確保されている必要がある。このガイドラインは、平成15年6月の「国土交通省所管の公共事業の構想段階における住民参加手続きガイドライン」や事業種毎の計画策定プロセスのガイドラインによる先行的な取組等を踏まえ、計画策定プロセスの標準的な考え方をとりまとめたものである。平成19年4月の「戦略的環境アセスメント導入ガイドライン」の策定など事業に先立つ早い段階での環境配慮を求める動きもあり、公共事業の構想段階における取組は、現在、非常に重要となっている。

本セッションでは、策定に携わった実務者、学識者がガイドラインを踏まえた今後の計画策定のあり方について議論を行う。

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism published official circular, March in 2008. This circular is named "Guideline for planning process in concept making stage of public-works". The guideline follows "Guideline for public involvement process in conception making stage of public works belonging to Ministry of Land, Infrastructure and Transport" published in 2003, "Guideline for installation of strategic environment assessment" published in 2007 by Ministry of Environment, planning process guidelines of several types of public works, etc. .

The planning process will be done according to this guideline from 2008. Members discuss about new process and future directions in this session.

■発表者と題目、プログラム

小林潔司 京都大学教授 (GL作成委員会委員長)、屋井鉄雄 東京工業大学教授 (道路専門)、辻本哲郎 名古屋大学教授 (河川専門)、三上圭一 国土交通大臣官房公共事業調査室長 (港湾専門)、五道仁実 国土交通省大臣官房技術調査課環境安全・地理空間情報技術調整官 (実務者代表)

プログラム

- 1 挨拶 小林潔司 京都大学教授
- 2 新GLの概要 五道仁実 国土交通大臣官房技術調査課環境安全・地理空間情報技術調整官
- 3 道路の計画策定の実例と課題 屋井鉄雄 東京工業大学教授
河川の計画策定の実例と課題 辻本哲郎 名古屋大学教授
港湾の計画策定の実例と課題 三上圭一 国土交通大臣官房公共事業調査室長
- 4 公共事業全般 小林潔司 京都大学教授
- 5 質疑応答